

減量サポート外来 スケジュール

#HOSPY 社会医療法人 名古屋記念財団

名古屋記念病院

減量サポートチーム作成

治療計画表(食事運動療法)

初診時～6カ月以上

達成目標	適切な食事や適度な運動を実践し、体重をコントロールしていく。 医療者と協力し食事運動を継続する。気になることを相談できる。
診察	1-2か月に1回、医師の診察で、指導内容の実践状況、体重推移の評価を行います。
身体測定	外来で体重を測定します。自宅でも体重を測定をお願いします。 初回と前半終了時に、身長、腹囲を測定します。
検査	初診時に、採血、採尿、心電図、レントゲンを行います。2回目の外来までに希望者には、内臓脂肪CT、安静時採血(隠れた肥満の病気を探すため)、合併症の検査(負荷心電図、頸動脈エコー、腹部エコー、睡眠時無呼吸症候群の検査、膝のレントゲン評価など)を行います。適宜血液検査と尿検査を実施します。 前半終了時に、初診と同じ採血、採尿、内臓脂肪CTを実施します(CTは希望者のみ)。
栄養指導	初回、食行動質問票の記録をお願いします。その後、栄養士と食事プランを作成します。自宅では日々の食事の記録をお願いします。医師の診察と同じ日に栄養指導を行います。
運動	運動記録を開始・継続してください。歩数計の活用をご検討ください。 運動内容は医師とも相談して、決定します。
薬剤/その他	使用中のお薬を確認するために、お薬手帳を持参してください。 初回に看護師相談があります。希望者には2回目に臨床心理士による面談を行います。

薬剤投与ができる方

- 高血圧、脂質異常症又は 2 型糖尿病のいずれかの薬物療法
+
適切な食事療法・運動療法を 6 か月以上継続した場合
- 上記の条件を満たした場合のみで、すべての患者さんが適応となるわけではありません。
- 食事運動療法の継続や実践状況や通院ルールが守れない場合は、薬剤投与を見送る場合もあります。
- 肥満症治療の基本は食事運動療法であり、薬物療法はその補助というのが当院の考えです。

治療計画表(食事運動療法+薬物療法)

薬剤導入～薬剤維持量決定(3～6か月程度)

達成目標	食事運動療法を継続し、体重をコントロールできる。治療薬について理解し、安全に適切に使用できる。気になることが相談できる。
診察	原則1か月に1回、診察があります。薬剤(ウゴービ、ゼップパウンド)の投与開始し、増量していきます。4週以上の間をあけて薬剤の量を増量します。維持量は医師と相談して決定します。
身体測定	外来で体重を測定します。自宅でも体重を測定をお願いします。
検査	外来受診毎に、採血、採尿があります。
栄養指導	医師の診察と同じ日に栄養指導を行います。自宅では日々の食事の記録をお願いします。
運動	運動記録を継続してください。運動内容で気になることがあれば、医師に相談してください。
薬剤/その他	週1回の注射製剤を自宅で行っていただきます。看護師が注射指導、薬剤師が薬剤の注意点(薬の効果、用法用量、副作用など)を説明します。

治療計画表(後期:食事運動療法+薬物療法)

薬剤維持量決定～最終回(初回から約24か月)

達成目標	食事運動療法を継続し、体重をコントロールできる。治療薬について理解し、安全に適切に使用できる。気になることが相談できる。
診察	2か月に1回を目安に、診察があります。薬剤(ウゴービ、ゼップパウンド)の継続するか検討していきます。治療終了時に今後の経過観察の方針を相談します。
身体測定	外来で体重を測定します。自宅でも体重を測定をお願いします。
検査	外来受診毎に、採血、採尿があります。治療終了時に採血採尿以外に、希望者に内臓脂肪CT、合併症の検査(負荷心電図、頸動脈エコー、腹部エコー、睡眠時無呼吸症候群の検査など)を行います。
栄養指導	医師の診察と同じ日に栄養指導を行います。自宅では日々の食事の記録をお願いします。
運動	運動記録を継続してください。運動内容で気になることがあれば、医師に相談してください。
薬剤/その他	週1回の注射製剤を自宅継続します。(最大投与期間 ウゴービ:68週間、ゼップパウンド:72週間)。

治療計画終了後も、生活習慣、運動習慣を維持することが重要になります。

“リバウンド”を防ぐためにも、食事と運動に注意しながら、医師と相談しながら定期的な評価を検討しましょう。